

平成 21 年度宮前区区民会議（第 1 回）

平成 21 年 5 月 29 日(金) 18 時 00 分～20 時 30 分

宮前区役所 4 階 大会議室

次 第

1 開 会

2 新委員自己紹介

3 副委員長の選出

4 議 事

(1) 区民会議からの提案に対する取組について

(2) 専門部会の審議状況について

公園・地域づくり部会報告

宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会報告

(3) 今後のスケジュールについて

5 その他

配布資料

資料 1 宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

資料 2 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過

資料 3 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過

資料 4 今後のスケジュール(案)

資料 5 参与との意見交換会実施結果

資料 6 新型インフルエンザの国内発生早期段階における本市の対応について

参考資料

宮前区地域課題の解決を図る事業提案制度の手引き

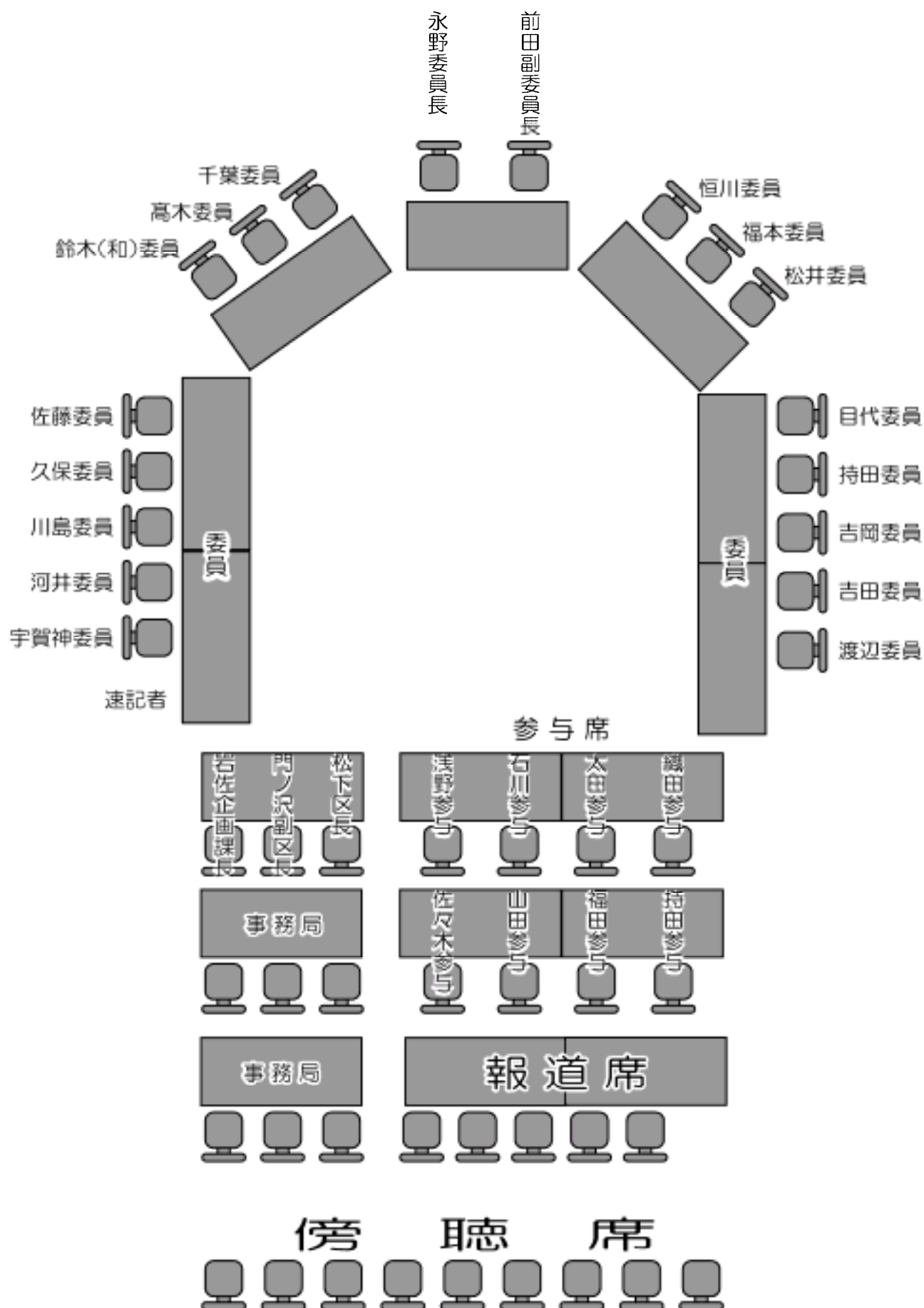
平成 21 年度宮前区役所事業概要

区役所と支所・出張所等の窓口サービス機能再編実施方針

(仮称)道路公園事務所及び(仮称)都市基盤整備事務所の機能整備実施方針

平成21年度 第1回宮前区区民会議座席表

平成21年5月29日
宮前区役所大会議室



第2期宮前区区民会議委員

No	部会			氏 名	選出区分	分 野	団体名等
	企 画	公 園	宝				
1				ながの まさる 永野 勝	団体推薦	防災・地域交通	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会
2		○		たなべ やすあき 田邊 保昭	団体推薦	福祉・健康	宮前区社会福祉協議会
3		○		よしだ こうたろう 吉田 亨太郎	団体推薦		宮前区老人クラブ連合会
4		○		くぼ ひろこ 久保 浩子	団体推薦	子育て・教育	宮前区こども支援関係者連絡会
5				もちだ まさみ 持田 正美	団体推薦		宮前区地域教育会議
6			○	かわい あきこ 河井 明子	団体推薦	自然・生活環境	グリーンフォーラム 21 世話人会
7			○	かわしま よししげ 川島 芳茂	団体推薦	産業・まちの活力	宮前商店街連合会
8			○	すずき かずこ 鈴木 和子	団体推薦	文化・観光	宮前区観光協会
9		○		よしおか きよし 吉岡 清	団体推薦	地域組織・ まちづくり	宮前区全町内会・自治会連合会(向丘地区)
10		○		ふくもと たかし 福本 尚	団体推薦		宮前区全町内会・自治会連合会(宮前地区)
11	○		○	まつい りゅういち 松井 隆一	団体推薦	地域特性	宮前区まちづくり協議会
12	○			さとう としえ 佐藤 利枝	公 募		
13			○	つねかわ やすお 恒川 康夫	公 募		
14	○			うがじん やすし 宇賀神 泰志	区長推薦		第1期区民会議 明日のコミュニティ部会長 (宮前区自主防災連絡協議会)
15		○		すずき けいこ 鈴木 恵子	区長推薦		第1期区民会議 高齢者福祉部会長 (在宅介護支援ボランティアグループ すずの会)
16	○			たかぎ かずひろ 高木 一弘	区長推薦		飛森谷戸の自然を守る会
17			○	ちば まさゆき 千葉 将行	区長推薦		(株)フューチャーリンクネットワーク
18	○			まえだ まさこ 前田 正子	区長推薦		(財)横浜市国際交流協会
19		○		ちくだい ゆみこ 目代 由美子	区長推薦		第1期区民会議 子ども部会長 (宮前区民生委員・児童委員協議会)
20			○	わたなべ よしお 渡辺 良雄	区長推薦		第1期区民会議 地域防災部会長 (宮前区全町内会・自治会連合会(向丘地区))

…… 委員長 …… 副委員長

…… 部会長 ○ …… 部会メンバー

【参与】

市議会議員

浅野 文直	織田 勝久
飯田 満	佐々木 由美子
石川 建二	平子 瀧夫
石田 康博	矢沢 博孝
太田 公子	山田 晴彦

県議会議員

福田 紀彦	持田 文男
-------	-------

第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

前回区民会議（2/12）から新たに進捗等のあったものについてのみ記載してあります。

■高齢者福祉（18 年度提案）

提案 「ご近所サークルの形成」

わたしの町のすこやか活動
これまでの 8 団体に加え、「神木本町地域推進委員会」と「鷺沼すこやか会」の 2 団体が新規申請中。
7 区の中でも最多団体数となる。

提案 「地域ぐるみの散歩活動などの実施」

公園体操
現在、区内 29 会場で実施。土橋第 7 公園で従前の「おはよう気功体操」（火曜 8 時半～9 時）に加え、「太極拳＋気功体操」（木曜 10 時～11 時）が加わった。
公園体操交流会
2 月 26 日に開催。公園体操グループのリーダー、運動普及推進員など 90 人参加。活動事例の発表・意見交換、宮前区オリジナル体操など実施。
公園体操マップ
3 月 23 日に作成検討委員会を開催。マップ作成目的の共有、内容についての意見交換実施。今年度中に印刷・配布の予定。

提案 「高齢者の学校給食体験の実施」

暮らしの元気度チェック
6 月から 65 歳以上の人を対象に郵送予定。今年度は特定高齢者候補者のうち、連絡を希望する人のみでなく全員の状況を電話で確認し、介護予防プログラムにつなげていく。

提案 「地域で高齢者を見守る会議の設置・充実」

地域包括ケア連絡会議
各地域包括支援センター（みかど荘・鷺ヶ峯・フレンド神木・富士見プラザ・レストア川崎）で開催。

提案 「成年後見制度の普及・啓発」

宮前区地域ケア連絡会議に「権利擁護部会」を設置し、普及啓発活動を強化。

■子育て支援（18 年度提案）

提案 「健診時における情報の収集・発信」

うえるかむクラス
転入の親子を対象に 6 月 11 日（宮前市民館）18 日（向丘出張所）に開催予定

提案 「赤ちゃん広場の拡充」

子育てサロンみなみのがわ
4 月から、毎月第 2 金曜に旧南野川小学校付属幼稚園の建物を利用し開催

提案 「子育て支援センターの拡充」

7 月に宮崎こども文化センター内に児童館型の地域子育て支援センターを開所予定

提案 「子育て関連支援組織による協議会(ネットワーク)の立上げと運営」

宮前区こども支援関係者連絡会
3 月 31 日に「宮前区子ども・子育てネットワーク会議」に名称変更。
2 月 18 日に実務者会議、2 月 20 日に代表者会議開催。21 年度に向け課題等の検討を行う。
4 月 22 日に実務者会議開催。
平成 21 年度は代表者会議を年 2 回（9 月・2 月）実務者会議を年 6 回（偶数月）開催予定。

提案 「地域などへの出前講座の実施」

親と子の子育て応援セミナー
平成 20 年度セミナーの番外編として、3 月 11 日「うたいっばいコンサート」開催。
平成 21 年度はセミナーを 2 期制とし、前期セミナー受講者を 4 月に募集。定員 35 組に対し 52 組の応募。
以下のとおり出前講座を実施

日程	会場	内容	参加者
1 月 26 日	子育て支援センターすがお	風邪の予防について	乳幼児と保護者 26 人
3 月 4 日	すすくくけやき平		乳幼児と保護者 32 人

■地域コミュニティ（19 年度提案）

提案 「小学校区単位で地域の特徴を活かしたコミュニティ促進」

商店街と連携した地域コミュニティ促進事業
3 月 18 日に蔵敷商店会と協働で「オオカミの護符」上映会開催。85 人参加（昼の部 50 人、夜の部 35 人）。
地域のイベントカレンダー「歳時記みやまえ」
4 月～ 区内各地のお祭り・イベントの月間カレンダーを作成し、毎月町内会・自治会を通じ回覧。

提案 「『地域のたまり場』の創出」

地域交流スペースの開設
商店街における地域のたまり場（地域交流スペース）を地域や N P O と協働で 6 月以降毎週火曜に鷺沼地区で実施予定。

提案 「『地域のつなぎ手』の育成」

地域コーディネートを学ぶ講座
1 月～3 月、シニア世代と地域を結びつけるための方法などを学ぶ 3 回の連続講座を開催。12 人参加（男性 7 人、女性 5 人）

■地域防災（19 年度提案）

提案 「（仮称）宮前区版「みんなでやろう防災対策」の作成」

防災ニュース
2 月 25 日、防災ニュース第 3 号発行。町内会・自治会を通じ各世帯に回覧。
5 月下旬に第 4 号発行。
防災フェア
平成 22 年 1 月に開催予定でまちづくり協議会と調整中。

提案 「防災出前講座の拡充」

「赤ちゃん広場」や会議に職員が出向き、出前講座の広報を実施予定。

提案 「（仮称）宮前区防災推進員の育成」

防災推進員通信
4 月に自主防災組織を通じ防災推進員に回覧。

平成二十年度

第8回部会

平成21年
3月5日

区民会議フォーラムについて
具体的な課題解決策について～公園の魅力をアピールする方法～

■区民会議フォーラム（3月15日開催）について

- ・区民会議フォーラム分科会の検討項目、進行方法、役割分担について決定。
- ・各団体に対して、口コミで参加を呼びかけることを確認。

■掲示板の設置について

- ・掲示板の設置に当たっては、管理する組織が必要である。
- ・公園に設置する掲示板は、一般的な行政や自治会の情報ではなく、公園のイベント、管理日程など、コミュニティづくりに寄与する情報を掲示する。
- ・掲示板の制作に公園で剪定した木を使用するなど、掲示板の設置に利用者が参加することで、掲示板の設置過程がコミュニティ形成につながる。

【配布資料】

- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラム分科会（公園・地域づくり）の進め方について（案）
- ・議論ペーパー
- ・公園地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料

区民会議フォーラム

平成21年
3月15日

平成20年度検討内容の報告

委員参与との
意見交換会

平成21年
4月20日

中間報告等に関する参与との意見交換

平成21年度
第1回部会

平成21年
4月22日

今後のスケジュールと進め方について
具体的な課題解決策について

■今後のスケジュールと進め方について

- ・9月の部会で議論をまとめ、11月の第3回区民会議全体会で、提案内容をオーソライズするスケジュールで、今後の検討を進める。
- ・実現に結びつけるには、提案内容に加え、どのように文章化するかが重要である。
- ・文章表現については、11月以後も引き続き検討する。

■掲示板の設置について

- ・公園で実施されるさまざまな活動を通して、コミュニティを活性化させることを目的とした情報を発信するために、掲示板を設置する。
- ・掲示板の設置に当たっては、維持管理する主体を明確にしておく必要がある。
- ・公園を利用する団体が、掲示板の設置、利用を通して連携ができ、公園の維持管理への参加に結びつくことと良い。
- ・掲示板以外にも、ホームページなどを情報発信手段として活用する。

■公園に目を向けてもらうためのイベントの実施について

- ・公園の日を設定し、公園に目を向けてもらうためのイベントを開催する。
- ・ディスカバーウォーク、スタンプラリー、写真コンテスト、公園体操など、既存の活動とうまく結びつける。
- ・公園に目を向けてもらうためのイベントの実施にプレーパークが位置づけられているが、宮前区ならではの支援の仕組みが確立できると目玉になる可能性があるため、別立てしてもよい。

【配布資料】

- ・今後のスケジュールと進め方について（案）
- ・公園・地域づくりアンケートのまとめ
- ・議論ペーパー

平成二十年度

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（11～1月）

区民会議
全体会

平成20年
11月16日

10月までの審議状況を報告

第6回部会

平成20年
12月9日

地域の課題の具体的解決策について

議論ペーパーに基づき、解決すべき課題を踏まえ、具体的な課題解決策について検討

■公園の魅力アピール

- ・あまり利用されていない公園にどうしたら人が興味を持って来るようになるのか、検討する必要がある。
- ・公園内に掲示板などを設置し、イベント情報などを発信してはどうか。
- ・この部会から公園の魅力を紹介してはどうか。
- ・公園をテーマにした集いを開催することで、公園に関する情報交換、事例報告などができるとよい。

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第5回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー
- ・公園を活用したコミュニティづくりに向けた提案

■コミュニティのきっかけづくり

- ・既存の団体が行っている活動の中には、コミュニティの視点を取り入れるものがあるので、既存の活動とコミュニティを一体化するための方法を検討する必要がある。

■維持管理・運営の担い手・組織など

- ・（公園緑地管理運営協議会という制度があることを前提として）公園の維持管理だけでなく企画を行う組織の確立が必要である。
- ・公園に携わる地域の人達の情報共有・交換のために、全区的な集まりがあることが望ましい。
- ・利用者間の調整やルールは、法令の範囲内で地域の実情に応じて公園を利用する人が決めることが望ましい。
- ・「あるべき論」よりも地域にとってのメリットを念頭に置く必要がある。

第7回部会

平成21年
1月20日

地域の課題の具体的解決策について
区民会議フォーラムについて

■議論の視点について

- ・議論の視点としては、「公園の日常的な利用・イベントでの活用」と、「利用調整等を行う組織の確立」などがある。
- ・これまでは、「利用調整等を行う組織の確立」を主に議論してきたが、まず公園を使ってもらわなければ何事も進まない。
- ・このため、まず「公園の日常的な利用・イベントでの活用」を中心に議論を進めていくこととした。

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第6回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー
- ・公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料
- ・子育て自主活動グループからみた現状と提案
- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラムについて（案）

■コミュニティのきっかけづくり

- ・具体的な手法として、スタンプラリー、水遊び、体操などの提案が出された。
- ・大きなイベントだけでなく、日常的に「何か」が行われていることが、結果として公園利用の促進につながり、コーディネーターの育成や管理運営協議会への発展へとつながるのではないかと。

■区民会議フォーラムについて

- ・地域活動事例の紹介として、有馬ふるさと公園でプレーパークの活動などを行っている「ボレボレ」に参加を依頼することに決定。
- ・分科会での意見交換の視点として次の点があげられた
 - ①公園でやりたいこと
 - ②公園デビューに必要なこと
 - ③理想の公園となるのに必要なこと

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（8～10月）

区民会議
全体会

平成20年
8月6日

7月までの審議状況を報告

第3回部会

平成20年
9月12日

公園や地域コミュニティに関する現状について
理想とする公園像について

■「公園・地域に関する現状」をこれまでの議論を踏まえて整理【配布資料】

- ・別紙 議論ペーパーのとおり
- ・今後議論を進めていく中で、変更や追加がありうることを確認
- ・議論ペーパー
- ・公園の良い点・悪い点一覧表

■理想とする公園像（①望ましい施設、②維持管理のあり方、③地域での使われ方 の観点から議論）

①望ましい施設

- ・トイレ、ベンチ、看板、時計、砂場などが「望ましい施設」として例示されたが、地域のニーズや実情によってその必要性が変わるため、区民会議としてその設置自体を提案することはしない

②維持管理のあり方

- ・市だけが管理するもの、公園緑地管理運営協議会も管理しているもの、公園緑地愛護会が除草清掃活動を行っているものなど様々な管理形態があり、何が理想かはさらに検討が必要

③地域での使われ方

- ・各種体操や地域お祭りなど、多様な使い方がされている

→「理想とする公園像」をより具体的に検討するために、次回は、参考となる公園の管理者、利用者からヒアリングを実施

第4回部会

平成20年
10月10日

公園での活動に関する取組事例について
（鷺ヶ峰公園管理運営協議会/つくし野「公園あそび応援隊」）

■鷺ヶ峰公園管理運営協議会

- ・自治会と老人会で組織。
- ・これまでの主な活動内容は、除草清掃/花壇づくり/落書き消し/餅つき大会など
- ・メンバーの固定化・高齢化が課題

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第3回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー

■つくし野「公園あそび応援隊」（町田市）

- ・自治会としての活動ではなく、近隣住民の有志による活動。地域性もあるが、組織化せず、やりたい人・やれる人が関わっていることが継続できているポイント
- ・これまでの主な活動内容は、朝のラジオ体操/防犯パトロール/公園見守りなど
- ・防犯パトロールや公園見守りは、学校と連携して実施。保護者も活動に積極的に参加

第5回部会

平成20年
10月27日

理想とする公園像について
解決すべき課題について

議論ペーパーに基づき、理想とする公園像、解決すべき課題について検討

■理想とする公園像

別紙 議論ペーパーのとおり

■解決すべき課題

別紙 議論ペーパーのとおり

■具体的な課題解決策（イメージ）

公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成、公園内への掲示板の設置による情報発信、維持管理だけでなく企画を行う組織の確立（既存組織の刷新）、公園からのまちづくりの必要性のアピールなど

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（5月～7月）

区民会議 全体会	平成20年 5月23日	高齢者や子育て支援活動における活用や世代間交流などが期待できる 「地域の庭」として、公園を審議対象テーマに選定
-------------	----------------	--

第1回部会	平成20年 6月16日	部会名称の決定 具体的な審議テーマについて 宮前区の公園緑地の現状と課題について
-------	----------------	--

■部会名称は「公園・地域づくり部会」に決定

■具体的な審議テーマ

- ・公園という場を活用した、「高齢者支援、子育て支援、多世代交流、地域コミュニティづくり」といった利活用のあり方（ソフト面）
- ・「地域特性に応じた魅力ある公園づくり」といった公園の維持管理・整備（ハード面）
- ・公園を活用しようにも現実には維持管理の水準が十分でない公園もある
- ・ハード面が十分であるからといって行きやすい・利用しやすい公園には必ずしもならない

【配布資料】

- ・部会の具体的な審議テーマについて（たたき台）
- ・川崎市緑の基本計画（抜粋）
- ・地元管理運営マニュアル
- ・宮前区の公園緑地一覧
- ・公園・緑地等位置図
- ・統計資料

両者を対立させて考えない・・・

■公園緑地の現状と課題について（西部公園事務所から説明）

- ・19年度まで維持管理の予算が減り続けており、行政として十分な維持管理ができていない状態
- ・地域の公園は地域が主体となって維持管理をしていただくのが、現在の川崎の基本方針
- 公園緑地管理運営協議会、公園緑地愛護会の活性化が必要
- ・各委員が公園に対して抱いているイメージや問題意識についてフリートーキング

第2回部会	平成20年 7月7日	第1回部会の論点整理と今後の議論の進め方について 公園や地域コミュニティ等に関する現状と課題について
-------	---------------	---

■第1回部会を踏まえた議論の方向性

- ・公園整備そのものを目的とするのではなく、公園という場を活用していかにより地域コミュニティを活性化させていくか、という目的のもとソフト面・ハード面を含めた解決策を検討していく

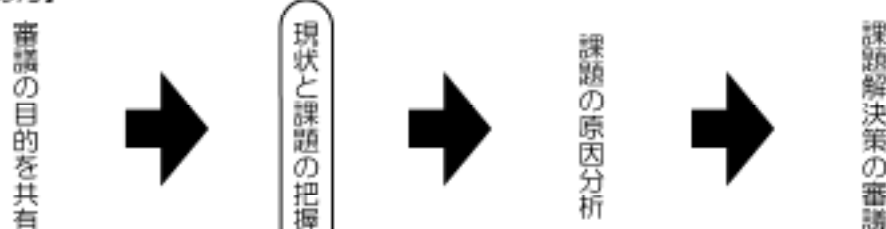
【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第1回）の論点整理と今後の審議の進め方について
- ・議論ペーパー（白紙）
- ・身近な公園の良い点・悪い点一覧表

■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・部会設置期間：第2期の期間中を通して審議を行うものとする
- ・部会案の報告時期：現段階では特に定めず、課題解決策がまとまり次第順次報告する

【進め方】



■委員による地域の公園の現状把握

- ・第1回部会と第2回部会との間に、部会委員が近所の公園の良い点・悪い点や公園で行われている地域活動などを調査（全22公園）し、その結果を報告
- 今後、この調査を元に良い点・悪い点を一般化し、理想とする公園像を導き出す
- 理想とする公園像をベースに、地域コミュニティの活性化につなげていく方を議論する

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 議論ペーパー

目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

全体会での意見など

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーディネーターの存在が必要不可欠だ。
- ・宮前区の公園は7区でも多い方なので、これらの公園がいきいきとした場になれば、区民の宝になる。
- ・子育てが終わった世代は公園に行かなくなりがちなので、楽しそうな企画があれば通りがかりでも参加できるのではないか

公園・地域に関する現状

◆地域コミュニティなどに関する現状と取組 (公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり(地域コミュニティ)が重要であると確認された。

◆公園そのものに関する現状と取組

区内には190の公園緑地がある。
うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14

公園緑地・街路樹に関する苦情が急増している
H12：714件→H18：1,065件

地域の公園は地域が主体となって管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では129箇所地域による維持管理活動等が行われている。
うち、公園緑地管理運営協議会：51 公園緑地愛護会：78

レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。

夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオ体操、健康体操の会場などとして使用されている。

一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。

誰でも使えるオープンスペースであるが、その利用方法は、立場や世代によって利害が対立する場合がある。

ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

理想とする公園像

◆望ましい施設

トイレ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる

◆維持管理・運営のあり方

地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている

公園利用者自らが、自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営に関わることができる

◆地域での使われ方(コミュニティ面)

普段から子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用しており、顔見知りの関係ができています

地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている

解決すべき課題

◆維持管理について

活動に関わる人が少ない。参加者の固定化・高齢化が見られる。

公園緑地管理運営協議会が存在・役割とも地域にあまり知られていない。

自主的な公園利用のルールをみんなで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の役割が内部の人にもあまり知られてない。

◆公園利用について

公園の利用層に偏りがあり、特定の人しか利用しない傾向がある。

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。

利用者のマナーが良くない(ごみ・たばこ・ペットなど)

具体的な課題解決策(議論中)

◆公園の利用促進に向けて公園の魅力をアピール

掲示板による情報発信

- ・設置目的：地域コミュニティの活性化
- ・発信内容：公園のイベント、管理日程など
- ・設置条件：管理・運営主体の明確化

活動の看板設置

- 例) 公園体操など
- プラスチックなどで作成しフェンスなどにくくりつける
- 管理運営主体が明確

その他の情報発信

- 例) チラシ配布、ホームページの活用

◆コミュニティのきっかけづくり

公園に目を向けてもらうためのイベントの実施

- 例) 「宮前区公園遊びの日」の設定
- スタンプラリー、ディスカバーウィーク、写真コンテスト、公園体操など既存の取組を活用

日常的に公園を利用できる仕掛けづくり

- 例) プレイリアカー、公園キャラバンなど

プレーパーク

- 例) 有馬ふるさと公園プレーパークなど取組の拡充

◆維持管理・運営の担い手・組織など

公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成

維持管理だけでなく企画を行う組織の確立

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(2月～4月)

平成二十年度

第7回部会 平成21年 3月3日 区民会議フォーラムについて
今後の議論の方向性について

■区民会議フォーラム（3月15日開催）について

- ・区民会議フォーラム分科会の検討項目、進行方法、全大会での発表も含めた役割分担について決定。
- ・FMかわさきでのPRについて、永野委員長の出演を決定。

■今後の議論の方向性について

- ・みやま映像コンクールについて地域の資源を紹介する手法のひとつとして捉え、区民会議フォーラム会場で映像を流すことを決定。
- ・地域対抗の宝物コンペ、区民の観光大使など、地域の資源や宝物を発掘、共有していくアイデアについて意見交換した。

【配布資料】

- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラム分科会（宝さがし）の進め方について（案）
- ・議論ペーパー
- ・具体的な課題解決策 検討資料

区民会議フォーラム

平成21年
3月15日

平成20年度検討内容の報告

平成二十年度

第1回部会 平成21年 4月13日 今後のスケジュールと進め方について
具体的な課題解決策について

■今後のスケジュールと進め方について

- ・9月の部会で議論をまとめ、11月の第3回区民会議全体会で、提案内容をオーソライズするスケジュールで、今後の検討を進める。

■具体的な課題解決策について

- ・小学校区～中学校区単位を基本とした地域での資源や宝物の発掘、共有作業を進める。
- ・メタボ対策ウォーキングマップ、眺望ポイントマップ、お花見マップ、昆虫マップ、駅周辺観光マップなど地域レベルでの様々なテーママップづくりに地域やそれぞれの活動団体が特色を活かしながら取り組む。
- ・野川カルタや映像コンクールなどの取組がより広く区民に知られ、地域の魅力を紹介する活動として区域全体に広がるようにする。
- ・それぞれの取組に更なる演出や“お楽しみ”を加え、様々な背景を持つ区民や、多世代の区民が参加できるように工夫する。
- ・できる地域からモデル的に取組を実施し、手法の検証、検討等を行いながら、段階的に取組を広げていく。

【配布資料】

- ・今後のスケジュールと進め方について（案）
- ・宮前区の宝さがしアンケートのまとめ
- ・議論ペーパー

委員参与との
意見交換会

平成21年
4月20日

中間報告等に関する参与との意見交換

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(11月～1月)

区民会議 平成20年 10月までの審議状況を報告
全体会 11月16日

第5回部会 平成20年 地域の資源について
12月16日 具体的な課題解決策について

■宮前区の資源（宝物・顔の候補）の取り扱いについて

- ・区民会議が宝物・顔を決めるわけではなく、今後、宝物・顔を作りあげていくにあたって、区民会議として地域に提示できる「資源」に留めておくもの
- ・現在の資源は、事務局の作成したものに、部会委員の意見が反映されたものなので、もっと広く区民から募ってみる必要がある。

【配布資料】

- ・宮前区の資源（宝物・顔の候補）
- ・議論ペーパー

■具体的な課題解決策について

- ・コミュニティの活性化を目指すことを考えると、地域ごとに宝を発見するプロセスそのものが重要となる。
- ・子どもが参加できるような仕掛けがあるといい。
- ・具体的な課題解決策を検討するにあたり、地域のイベントや各種団体に宝さがしをしてもらってはどうか。

第6回部会 平成21年 具体的な課題解決策について
1月16日 区民会議フォーラムについて

■具体的な課題解決策について

- ・具体的な課題解決策を審議するためのシミュレーションとして、地域のイベントなどの機会や各種団体に宝さがしを行ってもらおう。
- ・この宝さがしは、2月に行われるイベント（まちづくり広場ラブみやまえ(2/21)、ディスカバーウォーク(2/22)、文化講演会(2/28)、みやまえ映像コンクール(2/28)）で協力してもらったり、区民会議委員が所属する団体に依頼するなどしてできるだけ年度内に宝を出してもらい、区民会議フォーラムに活かす。
- ・この宝さがしでは、どのような宝が出てくるか、どのような出され方(与協力度合い)といった点も含めて検証する。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源一覧(カテゴリ別・地域別)
- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラムについて(案)

■区民会議フォーラムについて

- ・地域活動事例の紹介として、野川カルタに取り組んでいる地域に参加を依頼することに決定。
- ・分科会では、地域の宝・宮前区の顔に関する「夢」を語り合うこととし、この「夢」を踏まえて、今後の審議を深めていくこととした。

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(8月～10月)

区民会議
全体会

平成20年
8月6日

7月までの審議状況を報告

第3回部会

平成20年
9月22日

宮前区の宝・顔に関する現状と取組について
宝や顔があるまちのイメージについて

■宝物となりうる資源の分類・整理がまず必要である

現状について議論する中で、宝物となりうる資源の分類・整理の必要性について議論された

- ・大分類としては、4～5分類くらいに分けられると良い
- ・これからつくりあげていくもの、すでにあるもの
- ・ハードとソフト又は、見えるもの、見えないもの
- ・観たい価値、買いたい価値、住みたい価値

【配布資料】
・議論ペーパー

■地域の資源はどうなったら「宝物」や「顔」と言えるのか？

- ・宝物になるということ、顔になることの意味は少し違う
- ・宝物は秘伝・秘密の物や潜在的なものもあるが、顔は外から見ても明らかな存在
- ・より広い範囲の人々から見ても「宝物」と言えるものが「顔」である
- ・顔はいくつもあってはおかしい。顔というところまで絞り込まれる
- ・宝物を顔に「押し上げていく」のではない
- ・顔には戦略が入っている

第4回部会

平成20年
10月24日

課題解決策に向けた進め方について
地域の資源について

■資源の性質別の分類

資源の性質別の分類として次の5項目を選定

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 自然 | 風景・緑・水・生物・植物など |
| ② 歴史文化 | 史跡・伝承・芸術・ゆかり人物など |
| ③ 暮らし・産業 | 産物・農業・工業など |
| ④ ふれあい・交流 | イベント・スポーツ・市民活動など |
| ⑤ まち・施設 | 商店街、ランドマーク、建築物、施設など |

【配布資料】

- ・宮前区の資源の整理・課題解決策の提案に向けた検討資料
- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源（宝物・顔の候補）

■資源を「楽しむ」という視点での分類

資源の価値を評価する指標として次の3項目を選定

- ① みたい（見・観）・ききたい（聞・聴）
- ② 買いたい・食べたい
- ③ やってみたい

■具体的な課題解決策イメージ

- ・資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
- ・宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過 (5月～7月)

区民会議 全体会 平成20年 5月23日 文化・観光、緑、産業、まちづくりパワーなど様々な課題を包含する宮前区らしさ(＝宮前区の顔)を審議テーマに選定

第1回部会 平成20年 6月23日 部会名称の決定
具体的な審議テーマについて

■部会名称は「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～部会」に決定

- ・部会名称決定に先立って行われた、フリートーキングで出された「再発見」「ときめき」「宝物」「地域」などのキーワードをもとに、協議の結果「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～」を部会名称として決定した。

■具体的な審議テーマについて

- ・各委員の考える或いは知っている宮前区の「顔」や「宝」についてフリートーキングを実施
⇒出された意見は、次の項目に分類
 - ①なぜ「顔」や「宝さがし」が必要なのか？
 - ②なぜ宮前区には「顔」といえるようなものがないのか？
 - ③どうなれば、それが宮前区の「顔」「宝物」と言えるか？
 - ④どんなものが宮前区の「顔」や「宝物」となりうるか？
 - ⑤課題解決策提案の上で鍵になりそうなこと
 - ⑥参考になりそうな事例や他地域の話

【配布資料】

- ・宮前区の『顔』 検討対象絞込みのためのメモ
- ・宮前区の『顔』づくりに関する委員意見・提案
- ・宮前区観光資源一覧

第2回部会 平成20年 7月15日 今後の審議の進め方について
宮前区の宝をさがす目的について
宮前区のイメージについて

■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・結果的に公園・地域づくり部会と同様の進め方となった
(任期2年間を通して審議していく)

■宮前区の宝をさがす目的

- ・宮前区の宝を探すこと目的(宝や顔があることによるメリット、宝や顔を持つことで最終的に目指すもの)について意見交換
⇒具体的な結論には至らなかったが、次のようなキーワードが出された
共有意識・コミュニケーション・まちへの愛着・より良いまちにしていこうという意欲・目に見える宝物と見えない宝物(風土) etc...など

【配布資料】

- ・宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～の審議の進め方について
- ・議論ペーパー(白紙)
- ・宮前区の宝をさがす目的を確認するための議論用メモ
- ・現在の宮前区の成り立ちと開発等との関係について
- ・ホームページや雑誌等の紹介にみる「宮前区」
- ・川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート(抜粋)
- ・宮前区の地域資源一覧

■内外から見た宮前区のイメージ ～「宝」をさがすための1つの手がかりとして～

- ・現在の宮前区がどういった経緯でまちづくりが行われてきたのか、「多摩田園都市構想」の概略を共有
⇒特に宮前地区については、特定の会社の戦略のもと「良好な住宅地」という一定のイメージのまちづくりが行われてきた
- ・雑誌やホームページでの宮前区の紹介のされ方をみると、「住環境がよい」という評価がある反面、これといった目玉施設がないため紹介も少ないという現状
- ・宮前区に住んでいる人が宮前区をどのようにイメージしているかという調査では、「自然が豊か」という回答が最も多かったが、それでも麻生区や多摩区に比べれば少ない割合であった。また、「特になし」と回答した割合が7区の中で最も多かったのが特徴的(資料3-2参照)

⇒こうした宮前区のイメージ(実態と合っているかどうかは別として)も踏まえながら、今後の議論を進めていく(現在の審議段階:現状と課題の把握)

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～ 部会 議論ペーパー

目指すべき方向性

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを探すことも重要だが、あるものを利用することで新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどんなところかアピールするものがない。
- ・宮前区は緑がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。

- ・「やってみたい」がたくさん出てくると良い。
- ・中学校区単位くらいで、地域の人みんなで宝物を探してもらえるような動きにしたい。
- ・身近な地域での宝と区全体の宝の2本立てで考えられたらいいと思う。

宮前区の宝・顔に関する現状と取組

◆地域資源（宝もの）に関する現状

歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。

区内の資源を総合的にまとめたわかりやすい資料が無い。

観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始した。

目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。

◆宮前区に対する内外のイメージ

自然豊かで閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。

区のイメージで「とくにない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。

「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないかな。

◆その他 宮前区をめぐる現状

宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。
→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？

元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。

メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

宝や顔があるまちのイメージ

◆区民一人ひとりにとって・・・

自分の住んでいるまちについて、区外の人に紹介することができる

地域に愛着を持っている（終の棲家とする）

地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている

◆地域社会にとって・・・

地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

解決すべき課題

区の「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。

PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく掴む必要がある。

【課題解決策に向けた検討手法】

現状の資源の
特徴を把握

課題解決策イメージ

資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス

宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

具体的な課題解決策（議論中）

◆地域で資源を発掘し共有化するための具体的な手法→小さな地域単位で資源を宝に押し上げる

【地域の単位、取組の進め方など】

- ・小学校～中学校区の地域で単位で取り組む。
- ・様々な地域の市民活動（自治会や社協を含む）や教育関係団体（学校、PTAや地域教育会議など）が参加できる工夫をする。
- ・様々な世代、背景の区民が参加できる工夫をする。
- ・子どもを上手に関わらせることで両親、祖父母など多世代を取り込む。
- ・できる地域からモデル的、段階的に進める。

マップづくり

- ・メタボ対策ウォーキングマップ、お花見マップ、昆虫マップ、駅周辺観光マップなど地域レベルでの様々なテーママップづくりに地域や活動団体の特色を活かしながら取り組む。
- ・マップを活用したイベントを開催する。

カルタづくり

- ・野川カルタをより広く周知し、他地域での取組を推進する。
- ・絵札の募集、読み札を俳句や短歌にする、カルタを活用したイベントなど更なるお楽しみや演出の工夫を凝らす

◆小さな地域単位の宝を区全体の宝にするための具体的な手法→区全体で宝に顔に押し上げる

【これまでのキーワード】

区民祭の活用/区政30周年に向けた取組/地域対抗の宝のコンペ大会

◆宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

【これまでのキーワード】

マスコットキャラクター/観光大使の創設・活用

観光大使

- ・区民の親子にそれぞれの世代の視点から区内の資源を紹介してもらう。

今後のスケジュールと進め方について（案）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全体会			第1回区民会議			第2回区民会議			第3回区民会議	区長へ解決策報告		第4回区民会議	
							最終的な報告内容をオーソライズ				第2期の総括		
専門部会	企画		●		●			●			●		●
	公園・地域	●		●	●		●	●		●	●		
	宝さがし	●		●	●		●	●		●	●		
その他													フォーラム 総括報告
									第3期公募委員の募集				

全体会は、5月、8月、11月、2月に開催し、年内には課題解決策を取りまとめて、宮前区長へ報告する予定です。2月の全体会では第2期の活動の総括を行います。

公園・地域づくり部会と宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会は、10月までの全体会のない月に開催します。

第 2 期宮前区区民会議 「委員・参与との意見交換会」概要

- 日 時 平成 21 年 4 月 20 日（月） 18 時 30 分～20 時 10 分
- 会 場 宮前区保健所 1 階集団教育ホール
- 参加者 ・ 委員 14 名
・ 参与 5 名（太田議員、織田議員、佐々木議員、平子議員、矢澤議員）

(1) 公園・地域づくり部会に関する参与からの主な意見

- ・ 公園を地域コミュニティのハードの要素の一つとして使うのは重要なことだ。
- ・ コミュニティへの参加は、無理強いしない方がよい。魅力的な公園になれば、これまで利用していない人も使ってみたいと思い、自然発生的に広がりを持つ。
- ・ プレイパーク要綱を検討する中で、キャッチボールをする時間、高齢者が憩う時間、幼児が遊ぶ時間など、時間のルールづくりができるとよい。
- ・ みんなが利用できる要素があるのが公園の良いところだ。大多数が自由に使える雰囲気づくりが必要だ。
- ・ 地域や年代によって公園に求めるニーズは違い、一つの基準に括ることは無理だ。町会、小学校区、中学校区の中に点在する公園をどう利用するか、地区という単位の中で考えることが必要だ。
- ・ 公園管理運営協議会の存在が知れわたっていないのと同時に、話し合いの場がないことを感じる。自分たちの地域に合った、コミュニティの場としての公園を作らないといけない。

(2) 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会に関する参与からの主な意見

- ・ 宝の一覧表を区民に示すことで、私の地域にはこういうものがあるとさらに出てくる。それをまた集約する手立てができれば盛り上がるだろう。
- ・ 区内に住んでいても、他の地域に何があるかわからないし、地名すら知らないのが現状である。宝さがしが地域をわかってもらう手立てになるとよい。
- ・ 宮前区で育つ子どもたちが大きくなったときに、ふるさとは宮前区だと感じる資源として使ってもらえるとよい。教育の一つの財産として利用することができないか。ディスカバーウォークのような形で地域の資源を活用できるとよい。
- ・ 地域にこういうものがあると子どもたちに知ってもらうことが一番だ。
- ・ 区内には歴史的な存在意義が高いものもあるので、すべてを並列に扱うのではなく、メリハリをつけた宝さがしをしてもらえるとよい。
- ・ 映像文化は大変な宝だ。歴史的な宝、今ある宝、新たな宝とメリハリをつけ公表してもらおうとよい。

(3) 今後の参与の関わり方に関する参与からの主な意見

- ・ 非常に深く議論をしているので、参与はもちろん、区民会議フォーラムなど区民グループの意見を聞く場があるとよい。
- ・ 区の中のいろいろな会議とコラボしてはどうか。いろいろな人が集まっている会議と交流することで、区民会議の存在をより広く知ってもらえる。広報に加え、違うところで違うツールを使って情報を発信すると会議の認知度アップとなる。

国内早期発生段階における本市の対応について

- 1 国内における感染者の発生に伴い、「川崎市新型インフルエンザ対策行動計画」の第2段階（国内早期発生段階）に移行し、次の措置を実施する。

- (1) 市民及び職員等へ引き続き、次の事項を注意喚起する。

ア 正しい情報に基づき適切な判断、行動をする。

イ インフルエンザ様症状があれば発熱相談センターに相談する

ウ 外出に当たっては、人混みをなるべく避けるとともに、手洗い、混み合った場所でのマスク着用、咳エチケットの徹底、うがい等を呼びかける。

- (2) 生徒・園児等の健康状態を把握する。

- (3) 発熱外来の整備を進める。

- (4) 衛生資機材の緊急調達を行う。

- (5) 連絡網の確認、専用電話の増設など連絡体制を整備する。

- (6) 神戸、大阪等感染地域からの来川者(市民含む)についても「まん延国」に準じて「発熱相談センター」で対応する。

- 2 本市及び周辺地域で感染者が発生した場合、状況に応じて機動的・効果的に対応することを基本に、県等と連携しつつ本市では更に次の措置を実施する。

なお、今回の新型インフルエンザの感染力は強いが、早期に適切な治療を受けることにより、多くの方が順調に回復している。他方で、慢性疾患患者などにおいては重篤化する傾向があり、国内におけるまん延を視野に入れて重篤化を防ぐことに努力を集中する。

- (1) 学校・保育施設等の対応

ア 患者が学校・保育施設等に通う生徒・児童等の場合

原則として、市の一部又は全域で学校・保育施設等は臨時休業を要請する。

イ 患者が生徒・児童等でない場合

2次感染患者が発生し、さらに感染拡大の恐れがある場合には、同様に臨時休業を要請する。

ウ 臨時休業の終了時期については、疫学的情報を踏まえ、1週間ごとに検討する。

エ 大学等に対しては、休業を含め、できる限り感染が拡大しないための運営方法を工夫するよう要請する。

オ 事業所従業員の子供等が通う保育施設等が臨時休業になった場合、当該従業員の勤務について、事業者に対し配慮を行うよう要請する。

- (2) 市主催・共催のイベント等

一律の自粛要請は行わない。主催者に対し、開催の必要性の検討、感染機会減らすための工夫を検討する要請する。